



AJU愛実

編集：特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実
(大地の家／紙風船)

定価：一部100円

第54号 会報

福祉の創造「アリとキリギリス」/ 理事長 戸田 真二

お風呂ですよ！「楽しい家」となるように/ 居宅介護事業所あみ
大地の家（生活介護）

紙風船（生活介護）

沖縄・辺野古通信一見習い船長のまなざし / 島 しづ子

寄付者名簿



「渡嘉敷島と慶良間ブルー」

島 しづ子

沖縄生活の初めに、慶良間ブルーの美しさに感動しました。その時に、この島で起こった沖縄戦の歴史を聞き、以来沖縄の海は悲しみをたたえた美しさのように感じています。

私が絵を描き続けるきっかけになりました。

(ホームページにカラー版があります)

福祉の創造 「アリとキリギリス」

理事長 戸田真二

「アリとキリギリス」のお話は、有名なイソップ寓話の代表作です。先日、いじめについての講演会の冒頭でこの物語が紹介されました。私たち大人がこの物語をどのように子どもたちに伝えるのかを問題視していました。私も物語は知っていましたが、意図が分からず調べてみることにしました。

原 作

夏の間、アリたちは冬の食料を蓄えるために働き続け、キリギリスはヴァイオリンを弾き、歌を歌って過ごします。やがて冬が来て、キリギリスは食べ物がなく、アリさんに食べ物を分けてもらおうとしますが、アリは「夏には歌っていたんだから、冬には踊ったらどうだい?」と食べ物を分けることを拒否し、キリギリスは飢えて死んでしまいます。

登場キャラのイメージ

アリ: 冬に備え夏の間から食べ物をせっせと貯蓄する真面目な働きもの。

キリギリス : バイオリンと歌が得意。楽しいことが大好きな楽道家。



一方で、キリギリスが飢え死ぬ残酷な結末から、絵本やディズニー映画では、アリは食べ物を恵み「あなたは遊び呆けて何の備えもしなかったから、こうなったのですよ」とキリギリスに告げ、それを機にキリギリスは心を入れ替えて働くようになるという展開に改変され、今ではこちらが主流となっています。

問題はこの物語の教訓を子どもに押し付けていないかということです。働かざる者食うべからず。真面目に働くことの美德。困っている人には親切に等。子どもたちがエンパシーで感じる想像力と大人が伝えようとしていることには大きなギャップがあることに気づかされます。

更にこの物語には、もう一つの結末があるそうです。アリが「冬には踊ったらどうだい?」に対してキリギリスは「もう歌うべき歌はすべて歌った。君は僕の亡骸を食べて生き延びればいいよ。」と言って死んでいく結末です。冬の備えをせずに死んでしまうキリギリスは、怠惰で自業自得な不幸の象徴ではなく、陽気に歌って精一杯生きることこそがキリギリスにとって、人生最大の幸せであったことを想像することができます。一方、アリさんは楽しい人生を送っているのだろうか?

もともとキリギリスの生態は冬を越すことはないそうです。寿命は春から冬までとされています。そして、アリは種類によって異なりますがオスで5～6か月、メスで1年半ほど。女王アリは10年～15年生きるそうです。アリは短い生涯、そのすべてを女王アリのために働き続けていることが分かります。イソップは当時奴隷という立場でこの物語を描き、特別な評価をされていたようです。

この3つの結末から、様々なイメージが湧いてきませんか。自由な想像力の中に子どもたちの感性が育まれ、互いの違いにも気づいていきます。人生の幸福感は人それぞれ、違っているから面白い。大切なことは人は何のために生きるのか? 自問自答する機会が与えられ感謝です。

居宅介護事業所あみ

お風呂ですよ！

H.N

ピッカピカの顔でニコニコ……

息子がお風呂からでてきた。今日はヘルパーさんによる入浴の日。良かった良かった、母親の私は毎回そう思う。

思えばコロナ禍で居宅介護(入浴)を中断した日々、本当に大変だった。体の大きい息子と小さい母ちゃんコンビは悪戦苦闘した。洗面所で発作を起こし、親子共どもひっくり返った時は、痛いやら重いやらで、しまいには情けなくて頭にきてしまった。誰が悪いわけでもないのに縮こまる息子。

それにしてもヘルパーさんの有難さ！何度そう思ったことだろう。だから再開した時の嬉しかったこと。！そして余った時間での会話もお楽しみなのだ。盛り上がったところで、

「ハイ、時間ですよ」

ありがとう、感謝しています。



「楽しい家」となるように ～COPAINより～

佐藤 直樹

2名のメンバーの共同生活であるシェアハウスCOPAINの取り組みが始まり、半年が経ちました。

COPAINの日常は、夕方デイからメンバーが帰宅し入浴、夕食、そして自由時間を過ごして就寝、翌朝は食事と身支度をして、デイへ出かけます。これらの流れは今までの自宅での暮らしと変わらないことでしょう。ただ全く新しい場所での生活であると共に、家族からアシスタントへと関わる人が大きく変わりました。開始時はデイの時間とは違う互いの関係作りを第一の目標として気を配っていました。

全くの手探りででの立ち上げでしたが、ようやくメンバー、アシスタント共それぞれが新たな生活のリズムに慣れてきたかなと感じるようになりました。

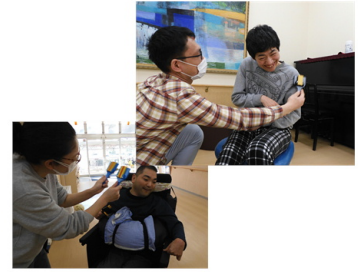
夕食の後はメンバーがそれぞれ好きな音楽を聴いたり、映像を見たり、絵本の読み聞かせをして過ごすことが多いです。横に座って一緒に見聞しますが、デイとは違う表情が見えたり、今まで知らなかった関心、興味を知ることができました。一人のメンバーとは落語と野球という共通の趣味があることを知り、この春からはプロ野球の試合も一緒にテレビ観戦できたらなと楽しみにしています。

シェアハウスの取り組みの始めに私は「メンバーと一緒に楽しい家を作っていきたい」という目標を持ちました。まだまだ歩み始めたばかりですが、メンバーと一緒に過ごす楽しさを探り、作り出していきたいと願っています。



大地の家

ミュージック・ケア



大地の家で定期的実施、継続している活動の一つにミュージック・ケアがあります。2018年から6年継続していることもあってすっかりメンバーにも浸透しました。ホールに出てみんなが集まると周りを見渡して「何か始まるぞ」と期待するメンバーもいれば、活動が始まるのをじっと待っているメンバーもいるようになりました。

ミュージック・ケアは楽曲の中のフレーズごとに決められた動きをします。繰り返す動きが多く、「太鼓を叩く・鈴を鳴らす」等、目や耳、身体で覚えていると「次はこの動きだよね」と自然と動かそうと頑張っている姿やリズムに合わせて身体を動かしたりする姿が見られるようになりました。

当初は活動の一部分だけでも楽しんでもらえたら良いという気持ちでメンバーに参加してもらっていましたが、今では一緒にミュージック・ケアを作っていこうという気持ちで参加してもらっています。一人ひとりの得意な箇所でもリズムを合わしてもらおうこともできるようになり、楽器の持つ方法も工夫したりとコミュニケーションを取る方法としてもメンバーに浸透しているのではないかと思います。

今後もミュージック・ケアは大地の家の代表する活動として継続していき、今まで以上にメンバーにとつての活動となるようみんなで考えて作り上げていきたいです。

松山 遼

布団でミュージック・ケア

ミュージック・ケアの活動の一環として、数年前に大地の家のオリジナルで始めたのが布団でミュージック・ケアです。ミュージック・ケアとの違いは、布団に降りることによって、よりメンバーにリラックスして参加してもらえたり、車椅子に座っている時よりも制限がなく大きく動くことができたり、足を積極的に動かすことが出来ることを狙いとしています。

布団でミュージック・ケアは、ミュージック・ケアを活動で取り入れてから数年経過して始めました。知っている曲や動きにメンバーも混乱することなく参加することができました。現在は、月に2～4回のペースで布団での活動を行っていますが、メンバーの参加方法、楽しみ方もそれぞれです。布団に降りたことで、リラックスして参加できウトウトする方、布団でも座って参加したいメンバー、足を大きく動かす感覚が楽しくて仕方がない方、それぞれのメンバーによって反応が様々でアシスタントも発見が多い活動です。

音楽を楽しむ、活動の中での動きとアシスタントが体に触れることによって音楽以外からの刺激もメンバーには伝わっていると思って活動をしています。

今後も大地の家では、布団でミュージック・ケアを通して言葉だけではできないスキンシップなどのコミュニケーションにより、メンバーとの関係をより一層深めることが出来るような参加方法を考えて、一緒に楽しみ続けていきたいです。

山本 りな



紙風船



音楽の力～”好き”が実を結ぶ時間～

音楽ボランティア 角田 ゆう

私は紙風船で4年間ほどアルバイトをしながら、大学では音楽療法について学んできました。紙風船では、昨年から時々ですが音楽療法を実施しています。音楽をしていると、その人のいいところやニーズ(サポートを必要としているところ)が見えてきます。音楽療法では、いいところ、サポートが必要なところに対して音楽で働きかけ、心や身体、社会的な繋がりなどの健康のサポートを行います。

紙風船のメンバーもアシスタントも、同じコミュニティーの一員の中で支え合っているという雰囲気を感じ、そのような雰囲気を促進させていくことに音楽が役立つと考えました。また、紙風船が行っている人形劇では、自分の人形を操作しながら周りに注意を向けるということが大切になるかと思います。そこで、音楽を通して何かの動作(歌や楽器活動など)をしながら他者に注意を向けることができれば人形劇にも活かされていくのではないかと考えました。実際にメンバーと音楽療法をはじめると、とても生き活きと参加されている様子が見受けられ、音のキャッチボールやソロ活動を通して、他者に注意を向けたり相互交流を行ったりすることが自然とできるようになってきました。楽器の操作を行いながらの活動では、アシスタントがサポートをしながら楽器の鳴らし方を工夫したりすることで達成できる人が増えてきています。



気持ちをひとつに～対面公演で得られるもの～

服部 由岐

紙風船にとって実に1年数か月ぶりとなる対面での公演が、中村区をやまびこ福祉会様主催で行われました。下火になったとはいえまだまだ終息したとは言えないコロナ禍での公演。演じる側も受け入れる側も細心の対策を講じた上での開催となりました。披露した演目は「はだかにされた王様と大臣」です。9月にリモートでの発表はしましたが、お客さんを前にしての公演は2021年12月以来です。いろいろな不安はありましたが、公演が決まってからのメンバーの集中力には目覚ましいものがあり、本番でもあいさつ、前座、役者、音響それぞれの担当が気持ちをひとつにして作り上げていく紙風船のいつもの公演を、全員の協力の下で再開することができました。



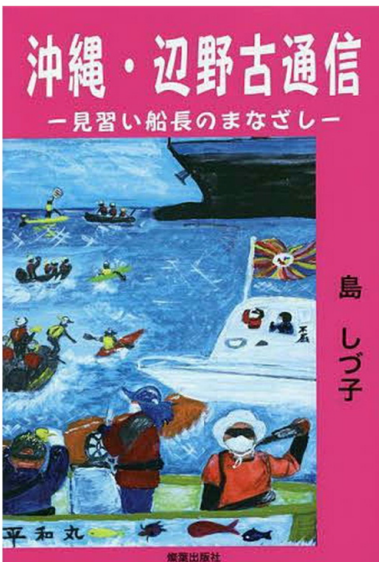
これからはリモートや配信など、今までとは違う公演方法が増えてくるかもしれません。しかしやはりお客さんと直接触れ合い、お互いの表情や息遣いを感じながら舞台を届けられたあとの充実感は何物にも代えがたいものがあります。少しでもそんな公演が増えることを願っています。

沖縄・辺野古通信 一見習い船長のまなざしー

島 しづ子

沖縄に来て四月で三年が過ぎます。春に秋桜(コスモス)が咲くことに驚き、草木の生命力の強さに驚き、海と空の美しさに感動する日々でした。うふざと教会の牧師として赴任しました。うふざと教会には「平和のために働くことは教会の公務である」という理念があります。教会の応援もあって、週二回辺野古新基地建設現場に通い、抗議船やゴムボートに乗っています。職住一緒の住まいなので運動不足になりそうですが、辺野古では船の上で半日は立っていますので体幹が鍛えられ、身体も引き締まったと思います。

そういう生活の中から感じた思いや日曜日のメッセージを記した本を昨年8月に出版しました。私の著書は「まなざしシリーズ」となっていて、一冊目は「あたたかいまなざし」二冊目「イエスのまなざし」三冊目「尊敬のまなざし」新刊書は『沖縄・辺野古通信 一見習い船長のまなざしー』です。沖縄に来てから描き始めた絵の写真も掲載しています。お読みいただけたら嬉しいです。この本のことを大塚頼明さんがブログにご紹介下さったので、お許しを頂いて転載させていただきます。



『沖縄・辺野古通信 一見習い船長のまなざしー』 島しづ子著
燦葉出版社2022年8月15日初版第1刷発行 発行日からお察しいただけますように、世に出たばかりの新鮮な本です。

そして、内容も、焼き上がったばかりのパンのように、ホットです。暑い日に読んで大丈夫かしら・・・いえ、ご心配要りません。ほっと安らぐ場面もたくさんありますから。

この本の表紙の絵も島しづ子さんがお描きになりました。沖縄の海のあまりの美しさに仰天し、描き始めた絵・・・その絵筆をふるって海を埋め立てる巨大な土砂運搬船の運行を遅らせようと漕ぎ出すカヌー、それを止めようとする海上保安官、カヌーを見守りながら工事の進捗状況を監視する船団。大変な状況をこの絵は雄弁に伝えてくれています。

島さんは、長年(45年間)住み慣れた名古屋から2020年4月に沖縄に伝道所牧師として移られました。海中のサンゴの様子を見たさ

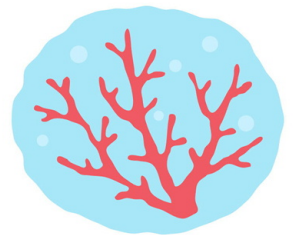
にシュノーケルを習い、美しい沖縄の海を埋め立てることに抗議する新基地建設抗議船の活動に参加するために操船免許を取得なさいました。抗議活動のためにカヌーの技術も体得されました。

この本の「長いあとがき」に辺野古・大浦湾のサンゴのことが書かれています。さて、皆さん サンゴは鉱物 動物 植物 のどれでしょうか？

【ヒント】

サンゴ礁は強い海流や高波を和らげる防波堤としても働いているのだそうです。そしてサンゴに住む共生藻(褐色藻)は光合成を行い、二酸化炭素を吸収して木の6～16倍も 酸素を排出し、地球の温暖化防止に尽くしているとのこと。さて、サンゴは 鉱物？動物？植物？
答えは、「動物」でした。

えっ、ヒントを読んでいたなら「サンゴ礁」の「礁」「防波堤」に目がいって「鉱物」と思ったとか、光合成のことが書かれていたので「植物」と思ってしまった・・・なるほど すみません。・・・こんな意地悪な展開にしたのは、私です。著者の島しづ子さんは 牧師さんでもありますし、クイズにしないで「みなさん、サンゴが動物って知っていますか？ 私は沖縄に来てはじめて知りました」と、とてもすなおに書いてくださっています。



この本には、島しづ子さんの今までの歩み、聖書に基づくメッセージ、いろいろな方の信念に裏打ちされた深く考えさせられる生き方などが掲載されています。よろしければ、ぜひどうぞ。今日も良い日となりますように。島しづ子さんのお描きになった「渡嘉敷島阿波連ケラマブルー」と題された絵を掲載させていただきます。この慶良間ブルーの美しさに魅せられて絵筆をおとりになるようになったのですね。大塚さんご紹介ありがとうございます。沖縄には米軍基地が多く、最近では自衛隊基地も拡大され、平和が脅かされています。ウクライナでの戦争が早く終わる事、新たな戦争を始めさせないことが大事だと思う日々です。戦争では弱い立場の方々がまず犠牲になります。「地上から戦争が無くなります様に」

【NPO愛実の会寄付者名(敬称略・順不同)】

2022年11月1日～2023年2月28日】

★寄付金

小島 真一	臼田 治子	伊藤 まり子	鶴崎 祥子
柏木 實	水戸 潔	丸山 恵津子	矢口 由美子
成瀬 絵里子	矢澤 綾子	伊藤あつ子	榛葉 英子
古田 真喜子	松本 普	吉岡 満智子	森山 昭雄
飯田 つや子	福島 真	下村 徹嗣	南 寿樹
奥山 喜正	住田 貞次	加藤 久雄	加藤 真規子
足立 克己	大原 由美子	水野 享好	安藤 香代
真木 芳子	五十嵐 靖	伊藤 秀章	河内 常男
武井 陽一	近藤 洋	森山 昭雄	畦地 優美
久野 みさき	小松 康宏	渡辺 真悟	楠本 啓子
坂田 昌子	吉丸 あさ子	塚田 正昭	戸田 真二
堤 肇	比企 敦子	榊原 喜代子	村上 貴久・裕子
伊藤 裕子	竹田 朋子	柴田 京子	細川 拓・美代子
義井 裕子	佐藤 純子	楽 有紀美	加藤 明宏・朱美
宮崎 正和	栗原 健	榎本 久美江	市原 信太郎・誉子
野崎 典子	瀬口 昭代(複数回)	吉谷 尚之(複数回)	

教団)中京教会	教団)豊山教会	浜松聖書集会	教団)田瀬教会
教団)豊田教会	教団)御器所教会	教団)鳴海教会	教団)広路教会
済美高等学校	南山幼稚園	教団)各務原教会	教団)坂下教会
教団)名古屋新生教会	一般財団法人 平塚YWCA	在日大韓基督教会 小倉教会	
教団)豊明新生教会	教団)岡崎教会 教会こども会	在日大韓基督教会 大阪教会女性会	
教団)岡崎茨坪伝道所	名古屋ワイズメンズクラブ	京都みぎわキリスト教会	
教団)西尾教会婦人会	日本キリスト改革派 金沢教会	日本キリスト改革派 八事教会	
教団)愛知教会女性の会	日本福音ルーテル復活教会	捜真女学校高等学部・中学部	

★紙風船夢づくり

牧野 雅樹	河合 みち子	間瀬 滝子	佐田 秀子
矢澤 綾子	石崎 亮史朗	牧野 みゆき	垣内 裕子
栗原 健			
(株)1R	(有)いろり		

★物品寄付

上野 嶺



今年度も愛実の会の活動、紙風船夢づくりのために多くの方々より寄付を多数お寄せくださいます。ありがとうございます。大切に使用させていただきます。

【所在地・連絡先】

特定非営利活動（NPO）法人 愛実の会

□ 居宅介護事業所あみ（ホームヘルプ）
〒455-0021 名古屋市港区木場町9番地の24
TEL：052-693-7645 FAX：052-746-2639
□ 障がい者デイセンター愛実（生活介護）
〒455-0021 名古屋市港区木場町9番地の24
TEL：052-693-5897 FAX：052-691-7889

E-mail info@aminokai.com
ホームページ http://www.aminokai.com

または

愛実の会	検索
------	----

【「認定NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替 □座番号 00850-6-187490
□座名称 特定非営利活動法人 愛実の会 1□1,000円 何□でも結構です

- ◆ 寄付金（賛助会費・NPO愛実の会の活動に関する費用）
- ◆ 紙風船夢づくり（人形劇制作費、公演活動に関する費用）